

バス停からの 小さな旅



12 「中之島公園(まちなかぐるっと線)」から 「これから育てる自然」を感じる場所へ

2019年12月に「かわまち大賞」を受賞したリバーポートパーク美濃加茂のにぎわいを横目に公園を東の方角へ進むと、手入れのされた雑木林が広がっています。ここはかつてキャンプ場として多くの人に利用され、今も昔も人の心に残る場所です。

この公園が整備される前、この辺りにはニワウルシやセンダン、ニセアカシアなどの帰化植物が大木となり広がっていましたが、今は常緑樹のアラカシや落葉樹のアベマキ、マツなどが林を構成しています。

この手入れされた雑木林を抜け、背の高いササのあるエリアにたどり着くと、木曽川の河川敷へ降りていくことができます。ここには、化石林公園と同じ1900万年前の大地が広がっています。

林の中に立つと、若葉の間から見える木漏れ日や木の間を抜ける風、野鳥のさえずりや落ち葉の感触が、さぞかし心地よく感じられることでしょう。

新しくなった中之島公園は、人も生き物たちも共に過ごせる環境として、出発し始めています。



▲リバーポートパーク美濃加茂の一角にある雑木林



今回乗車したバス

行き まちなかぐるっと線
・左回り 1便
帰り まちなかぐるっと線
・左回り 3便

08時10分 美濃太田駅北口

08時28分 中之島公園

(リバーポートパーク)

下車後、中之島公園内を散策。

11時07分 中之島公園

(リバーポートパーク)

11時35分 美濃太田駅北口



▲河川敷に広がる大昔の大地